

特集

戦後 60 年 映像で見る戦争 ~視聴覚資料より~

前々号(第14号)では、今年で戦後60年を迎えるにあたり、子どもたちに戦争の悲惨さを伝える本の中から、子どもの目から見た戦争や空襲体験が描かれているものを中心に紹介しました。今号では、当館所蔵の映像資料の中から戦争の様子を伝える資料を紹介します。

カメラが映した戦争

画像なし

『太平洋戦争 - 映像記録史 - 』
(前編・後編) / DVD
NHKソフトウェア / 2001 / 210 タ
太平洋戦争の事実を日本・アメリカ両国に残された記録映像をもとに伝えるドキュメンタリー。

『映像の世紀 - The 20th century 』
(第1巻~11巻) / DVD
NHKソフトウェア / 2000 / 209 エ

画像なし

20世紀に起こった戦争などを中心に、様々な出来事を多くの映像とともに紹介した『映像の世紀』。全11巻あるこのシリーズの最終巻は「JAPAN」と題して、20世紀以降、国際舞台に登場した日本が、どう歩んできたかを海外からの視点を軸に描いています。

当時の昭和の暮らし

画像なし

『昭和の暮らし - 戦中・戦後 - 』
(第1巻~第4巻) / ビデオ
日本映画新社 / 2000 / 210 シ
戦中・戦後の暮らしを記録したシリーズ。敵機の空襲に備えての防空対策と訓練を描いた映画「防空消防」、終戦直後の儉約生活の様子がわかる「家計の数学」などを収録しています。

野坂昭如が描く戦争

『戦争童話集 - 忘れてはイケナイ物語り - 』
(第1巻~第4巻) / DVD

野坂昭如原作 / NHKソフトウェア / 2004 / 778.3 セ
各巻冒頭の「戦後なんて一度もない。この地球の上はいつも戦中。今もどこかで戦争が行われている限り、永遠に今のできごと」という言葉が印象的です。「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話」、「凧になったお母さん」など各巻3話ずつ収録。

画像なし

画像なし

『火垂るの墓』 / DVD
高畑勲監督・脚本 野坂昭如原作 /
ワーナー・ホーム・ビデオ / 2000 / 778.3 ホ
野坂昭如の同名小説をアニメ化。第二次世界大戦末期の神戸を舞台に空襲で家も両親も失った兄妹がたどる悲しい運命を描いています。

ヒロシマ・ナガサキ

画像なし

『ひろしまのピカ
- ビデオ絵本 - 』 / ビデオ
丸木俊絵・文 / 小峰書店 / 726 ヒ

絵本『ひろしまのピカ』は世界数十カ国で翻訳・出版され、数多くの賞を受賞・選定されました。この作品は絵本『ひろしまのピカ』をビデオ化したものです。

『祈るように語り続けたい』
(広島編 / 長崎編 / アメリカ編) / ビデオ
吉永小百合出演 / NHKソフトウェア /
2003 / 319 イ

広島と長崎に投下された原爆。被爆による苦しみや悲しみを綴った「原爆詩」を女優・吉永小百合が朗読。

☞ ここで紹介した資料は、8月末までAVコーナー(テーマ展示架)にあります。

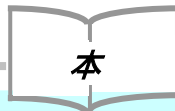
鬱陶しい梅雨が終わり、季節は夏へ。太陽が輝き、木々の緑にほっとする季節になりました。そんな夏本番の7月の展示は、「旅をしよう!」です。「旅」をテーマに本を集めてみました。その中よりおすすめの1冊は、「**たびたびの旅**」(安西水丸著/フレーベル館/1998/9157円)です。

画像なし

著者が旅をした場所で、出会ったこと・感じたこと・思ったこと・感動したことなどを語りかけるような文章と著者自身が描いた楽しいイラストで紹介しています。

訪れたことのある場所でのエピソードに共感したり、知らない場所での出来事が新鮮だったり、「旅っていいな」とどこかに出かけたくなる1冊です。

新しく入った本 CD DVD



「歴史のかたち - モノ語り日本史 - 」 (読売新聞大阪本社編/淡交社/210.0円/2005.3)

画像なし

「信長のマント」正倉院の煌めく鏡……目次を開くと、それだけでわくわくできる見出しが並んでいます。この『歴史のかたち - モノ語り日本史 - 』は、さまざまな「かたち」「モノ」から歴史を読み解く、という視点で書かれた歴史モノ語りです。読売新聞夕刊で連載中の記事(掲載は大阪

本社管内)をまとめたもので、古墳時代から昭和まで、40の「かたち」が紹介されています。各項目に、地図と見どころが掲載されています。また「この一冊と歩く」と題して、関連した人物や場所の登場する図書も紹介されています。この本を案内役に、歴史の世界を旅してみたいかがでしょう。新鮮な視点で歴史を楽しむことができる本です。

画像なし

「かいじゅうたちのいるところ」 (ヤマハミュージックメディア/K726カ/2004.4)

(以前ビデオで所蔵していたものの、DVD版です。)

この作品のシリーズ「世界絵本箱」は、アニメに近い技法や原画に殆ど手を加えず動きをだす技法など様々な映像表現を用い、「原作のイメージを大切に」「絵本を読むことへのかけ橋に」と作られたシリーズです。

『かいじゅうたちのいるところ』は世界中の子ども達に読み継がれている絵本ですが、実は出版当時「教育的でない」「怖い絵本だ」などの非難を浴びました。けれども子ども達の絶大なる支持を受け、コルデコット賞を受賞するに至りました。原作者モーリス・センダックは、1928年ニューヨーク市ブルックリン生まれ。ミッキーマウスと同年で、映画とおいしい食事のあるマンハッタンに憧れて育ちました。そんなセンダックの思いが、原作はもちろん映像でも存分に感じられます。センダック自身へのインタビューが収録されているのも楽しみのひとつですが、その中でセンダックは「子ども達の心をつかめなければ賞を18個とっても関係ないさ。」と語っています。“音”の部分でもそれぞれに楽しみ、キャロル・キングが作曲・歌を担当している作品も入っています。収録の全3話の原作絵本も、すべて所蔵していますので、どうぞあわせてご覧ください。

録音 CD

「究極の純サウンド水晶琴の世界」 (王偉演奏/キングインターナショナル/450円/2005.2)

みなさんは「水晶琴」という楽器をご存知ですか? 中国の江蘇省という地域で発掘された天然水晶から削り出し作られた楽器です。木琴のような形をしていて、音はガラスの風鈴に似ています。水晶には、昔から「浄化」や「幸運を招く力」があるとされ、東洋・西洋を問わず世界中で特別な存在として扱われてきました。

このCDは、中国と台湾の水晶琴作品を本格的に日本に紹介したものです。透明感のある水晶琴の響きと、アジアを感じさせる弦楽器が、心地よい安らぎを与えてくれます。ゆったりとした時の流れを感じながら、水晶琴の奏でる神秘的な世界をお楽しみ下さい。

画像なし

夏野菜なのに なぜ「冬瓜」なの?

冬瓜は夏が旬の野菜です。夏に収穫されたものが厳寒の季節まで貯蔵に耐えるため、かつては他に果菜のウリ類のない冬場に食されたことから「冬瓜」と呼ばれるようになったようです。ちなみにももとの呼び名は「トウガ」と言い、関西では「カモウリ」とも呼ばれています。

図書館発見 - 新聞・雑誌コーナー [1階]

図書館の1階カウンター前のコーナーです。現在、新聞は25タイトル、雑誌は219タイトル受入しています。みなさんは、お気に入りの新聞や雑誌はありますか？ここ1年でよく借りられている雑誌は、『New HOUSE』『オレンジページ』『美しい部屋』などで家庭・生活分野の雑誌に人気が集中しています。週刊誌の『週刊SPA!』、女性誌の『家庭画報』、人文科学分野では『別冊歴史読本』、自然科学分野では『日経パソコン』などもよく借りられています。

当日の新聞は新聞棚の上に、雑誌の最新号は雑誌架にフェイスアウト(表紙を表にむけて配置すること)しています。バックナンバーは、新聞は新聞棚の引き出しに、雑誌は最下段の棚とブックトラックに並べてあります。新聞は月に2回、

半月分を、雑誌は利用度に応じタイトルごとに書架に出しておく期限を決めてあり、期限ごとに書庫へ下ろしています。書庫では、新聞は約1年保存、雑誌は保存期限をそれぞれのタイトルごとに定めて3ヶ月から永年で保存してあります。雑誌のバックナンバーが書架に並んでいない時にはコンピュータで検索してみてください。



新聞・雑誌コーナー

ベストオーダー
2005年5月～6月
この期間に予約が多かった本です

【児童書】

- 第1位 ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 下
- 第2位 ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上
- 第3位 ダレン・シャン 2 若きパンパイア
" 魔法使いハウルと火の悪魔(空中の城 1)
- 第4位 ハードル 2
" 風神秘抄
- " アブダラと空飛ぶ絨毯(空中の城 2)
- " デルトラ・クエスト 3 死の島
- " アリからみると

【一般書】

- 第1位 魂萌え! / 桐野夏生
- 第2位 半島を出よ 上・下 / 村上龍
- 第3位 ダーリンは外国人 / 小栗左多里
" ダーリンの頭の中 / 小栗左多里 ほか
- 第4位 ダーリンは外国人2 / 小栗左多里
" ダ・ヴィンチ・コード 下 / ダン・ブラウン
- 第5位 あなたへ / 河崎愛美
" ダ・ヴィンチ・コード 上 / ダン・ブラウン

二宮ゆかりの人物

梅田 晴夫 (うめだ はるお)

「母親の愛情というものは、すべてを啖いつくし焼きつくす夏の烈火のそれではなく、すべてをやわらかくおだやかな光でつつみ、静かに温めてくれる冬の太陽の光のようなものだということです。」(『母の肖像』より)

これは、梅田晴夫の代表作の一つである『母の肖像』のあとがきの一節で、昭和28年2月2日二宮で執筆されました。『母の肖像』は、昭和27年10月から毎週1回ラジオ東京及び民間5局から放送された連続放送劇を小説化したもので、12月までの13回分を収めています。

梅田晴夫(本名: 晃。1920~80)は、大正9年8月12日東京生まれ。慶應大学仏文科卒で、学生時代より「三田文学」編集に携わり、昭和25年『五月の花』で第2回水戸上滝太郎賞受賞。その後NHKラジオ小劇場の台本担当を端緒に放送作家として活躍し、一時は東宝専属シナリオ作家でもありました。

晴夫が東京から二宮に移転したのは、20歳前後の昭和16年頃と思われる。二宮には母方の実家の別荘があり、以前から毎年のように避暑に訪れていたようですが、戦争の心配からその別荘と地続きの土地を一家で購入し、二宮移転となりました。図書館だより4号で紹介した、作家の山川方夫が17歳の時(昭和22年)に訪れた梅田晴夫の家というのは、この場所になります。

晴夫は、昭和18年23歳で最初の結婚をしましたが、戦後離婚。その後、二宮在住の石井喜美と再婚しました。『五月の花』はこの妻・喜美がモデルとされている作品です。また『嫁さんをもらったら読む本』の中でも喜美への思いが記述されています。

喜美は、結婚後持病であった結核が再発し、11年間のサナトリウム生活と自宅療養の後亡くなりました。ちょうど晴夫が放送作家として、ラジオやドラマの脚本を書いていた30代前半の働き盛りの時期にあたります。喜美の甥にあたる石井太郎氏によると、叔母(喜美)は体が弱かったが、晴夫に「おきみ」と呼ばれ大変大切

にされていた、ということです。二宮での暮らしは、昭和30年頃までだったようです。

喜美との死別後、39歳(昭和34年)で女優の方里陽子(本名: 政江)と再婚し、翌年には長男: 望夫、5年後には長女: みかが生まれました。この結婚と同時にそれまでの放送作家の仕事辞め、30年を超える収集趣味を生かした著書『THE万年筆』『THEパイプ』『ひまつぶしの本』など多数刊行しました。また、研究グループと共同で万年筆なども設計し、58歳(昭和53年)の年には、富士山の標高を表す数字にちなんだ名称がつけられた万年筆「プラチナ#3776」が発売されました。このように、晩年は雑学の大家の評を得ています。しかし、昭和55年刊行の『嫁さんをもらったら読む本』のあとがきに、「この本は、私の二人の子供たちへの『早すぎる遺書』と記した半年後の12月、肺がんのため60歳で亡くなりました。

なお、冒頭で紹介した『母の肖像』のモデルである晴夫の母・玲子も二宮と関わりが深く、現在に続く「鹿火屋」の創刊主宰である俳人原石鼎に二宮移転を勧めた人物です。原石鼎については、またこのコーナーで紹介します。

『母の肖像』表紙

今回の記事を掲載するにあたり、瀧澤靖雄氏をはじめ町内の方々、さらに石井喜美の甥にあたる石井太郎氏にご協力をいただきました。ご協力ありがとうございました。

画像なし

このコーナーは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。

参考資料 『母の肖像』(梅田晴夫著/宝文館/1953) / 『講談社日本人名大辞典』(講談社/2001/R281.0) / 『日本近代文学大辞典 第1巻』(講談社/1977/R910.2) / 『紳士の美学』(梅田晴夫著/青也書店/1977) / 『嫁さんをもらったら読む本』(梅田晴夫著/日本実業出版社/1980) / 『魂のはな』(秋山素子著/ふらんす堂/2002/NW1) / 『石鼎とともに』(原コウ子著/明治書院/1979/NW1) / 『朝日新聞縮刷版 1980』12月22日 / 『鹿火屋 NO.5 05』(1965.3)「梅田玲如さんのこと」

お知らせ・お願い

利用カードの登録更新が始まります

登録内容（住所・電話番号等）の確認のため、利用カード作成後5年を経過する方から、更新手続きを開始します（8月3日より）。詳しくは館内掲示をご覧ください。

課題図書のお知らせ

＜夏休み期間中（～9月上旬まで）の課題図書の貸出について＞
例年夏休み期間中に課題図書の利用が集中します。期間中、スムーズに利用されるよう、以下の様にさせていただいておりますので、ご協力お願い致します。

貸出は一人につき一冊、一週間以内とします。
原則として、課題図書として使用される小中学生の利用を優先します。
配架場所は児童展示テーブルです。貸出中の場合は予約をしてください。戻り次第ご連絡します。
連絡がありましたら、1～2日以内に借りに来てください。

夏休みの館内利用について

夏休み期間中は利用者が増え、混雑・騒音が予想されます。皆さまに気持ちよく利用していただくために、お互いにルールやマナーを守りましょう！

図書館臨時学習室の実施について

今年もラディアン展示ギャラリーで、下記の日時に開室します。ご利用ください。

日 程：7/21(木)、7/22(金)、7/24(日)、7/26(火)
8/7(日)、8/16(火)、8/30(火) の7日間

時 間：平日 9:30～19:00 土日祝日 9:30～17:00

新しい雑誌が入りました

『風の旅人』（隔月刊）・・・グラフィック・カルチャーマガジン

利用者の声 Q&A

Q：現在、私が借りている本は何冊ありますか？

A：利用カードをご提示いただくと貸出冊数や本のタイトル、返却期限などについてお調べすることができます。また予約された本についても利用カードで確認できますので、カウンターでおたずねください。

開館30周年記念行事

地域資料展示

小隅 隼 (柴野拓美) 氏と『宇宙塵』

日本SFの軌跡

期 間 9/13(火)～9/19(月・祝)

午前9時半～5時

会 場 ラディアン展示ギャラリー1

二宮町図書館講演会

『宇宙塵』の軌跡

～日本SFと柴野拓美氏～

日 時 9月18日(日)

午後2時～4時

会 場 ラディアン ミーティングルーム2

講 師 横田 順彌 氏

(SF作家・明治文化史研究者)

詳しくは館内ポスターをご覧ください

行 事

くわしくはお問い合わせください。

ちいちゃいおはなし会

7月 13日(水)

8月 3日(水)

9月 14日(水)

おまけのおはなし会

おはなし会とおりがみあそび

7月 16日(土)

8月 20日(土)

9月 17日(土)

わらべうたであそぼう!

7月 15日(金)

8月 26日(金)

9月 16日(金)

雑誌のリサイクルコーナー

7月 24日(日)

8月 28日(日)

9月 18日(日)

子ども映画会

8月 4日(木)

展 示 テ ー マ

6月 一般 / 『裁判って』
児童 / 『あったらいいな、こんなことあったらどうしよう...あんなこと』
A V / 『月へ...』

7月 一般 / 『旅をしよう!』
児童 / 『課題図書&小・中学生にすすめたい本』
A V / 『戦後60年 映像で見る世界』(7/15～8/30)

特設展示

6月・・・『倉橋由美子さんをしのんで』

ひとつだけ ～編集後記にかえて

買物をしていると偶然、高校の同級生に会った。会うのは5年ぶり、近いうちに連絡を取りたいと思っていた。しかしその日は誰にも、その友人にもできれば会いたくなかった。その日に限って、髪はボサボサ。暑かったので着ている服もだらしない格好。逆に友人は涼しげな、きちんとした身なりをしている。久々に会って話をしてもそのことが気になってしょうがない。今夏から「COOL BIZ」が推奨されている。ちなみにCOOLは「涼しい」という意味のほか「格好いい」という意味があるそうだ。涼しく、格好よく...この夏、これを課題に暑い夏を過ごしていこう。